



さいとう 誠 誠策で勝つ

国民民主党船橋市議会議員

〒273-0021 船橋市海神4-2-2-12

TEL・FAX 047-431-1717

E-mail seisaku@jasmine.ocn.ne.jp

URL <http://seisaku-makoto.com>

急傾斜地崩壊防止対策

第3回定例会で、一般質問に登壇、急傾斜地崩壊防止対策を取り上げました。

先の2定で取り上げましたが、海神地区の崖地は、自然崖に該当せず、補助事業とはならないとのことでした。

しかし、自然崖でなくても、崖の形状によって、住民の負担割合を原則の10%より増やし、新たな補助事業を実施するべきであるが、見解を伺いました。

答弁は、急傾斜地法も含め、新たな手法や負担割合等については、他市の動向を調査し、関係法令と照らし合わせ、県と相談しながら研究するというものでした。

調査研究結果はどのようになったのか、見解を伺いました。

答弁 県と協議した結果、人口崖と自然崖が混在する場合、自

然部の方が大きい時は、自然崖として取り扱い、補助対象となる、という見解を得たので、引き続き県と協議する。

再質問 県には自然崖と判断してもらいたいが、県に対して強いアプローチが必要だが、どのようなアプローチをするのか。

答弁 過去に行った近隣の地質調査資料を活用して、県と協議する。

要望 県が自然崖と判断しない場合、それでも住民が補助対象事業としたい場合、住民が自然崖であることを立証しないとけない。それは、できない。

コストがかかる。コストをかけて自然崖と判断してもらえなかったら、お金のかけ損である。

自然崖の立証は、行政で対応するべきである。

自転車安全利用対策

自転車安全利用対策について、取り上げました。

昨年12月、スマートフォンを操作しながら電動自転車を運転し、歩行者を死亡させた事件が発生しましたが、横浜地裁は禁固2年、執行猶予4年の判決を出しました。

また、船橋市を含めて、県内で人口の多い千葉市、市川市、松戸市、柏市では、全体の事故件数のうち、自転車事故件数が30%近くを占めています。

過去、自転車安全利用条例制定、保険加入の義務付けなどを提起してきましたが、今回は、視点を変えて質問しました。

専門家によれば、自転車安全利用対策として、スクエアードストレートのように、生々しい事故の再現を多くの人に見てもらうこと、また、取り締りが効果があるとのこと。

スクエアードストレートは中高生が対象だが、中高生に限定せず、地域の一般成人も対象にするべきだが、見解を伺いました。

また、取り締りについては、警察としては、警告、指導から入ること、いきなり取り締りをするのは難しいようです。

しかし、スマホを操作しながらの悪質な場合は、やはり取り締りが

が必要であると考えます。

現在、市としては警察と連携して、安全運転の啓発活動をしているが、今後は、悪質な運転者に対しては、身分証明書の提示を求めるなど、厳しい対応をとるべきであるとするが、見解を伺いました。

答弁 スクエアードストレートについては、地域住民に参加していただいている学校もある。

学校行事であり平日限定だが、更に地域住民が参加できるよう調整する。一般対象のスクエアードストレートは、年1回開催。

取り締りについては、警察は、悪質な場合には、身分証明書の提示を求めているとのこと。

再質問 一般対象のスクエアードストレートは、更に回数を増やし、天沼公園のように利便性の良い公園で実施してはどうか。

警察と連携した啓発活動については、今年は2回程度しかできていないとのことだが、回数を増やすべきではないか。

答弁 中学校での地域住民参加の開催回数を参考に回数を決め、大勢が来場する場所を選定する。啓発活動回数は、警察に回数を増やすよう働きかける。